

区分	専門基礎分野
授業科目	関係法規
回数(単位)	6回+ 2講師でテスト1回(2講師で1単位15時間)
開講年次	3年次 前期
学習目標	円滑な看護活動を行うために必要な保健医療・福祉の法的基盤を理解する
関連科目	公衆衛生学 社会福祉学
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法律の基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> 1) 法の概念 憲法25条 2. 生活者の健康と法律 <ol style="list-style-type: none"> 1) 医事法 2) 保健衛生法 3) 薬務法 4) 社会保険法 5) 福祉法 6) 労働法
授業時間外学習 (事前・事後)	
評価方法	筆記試験(80点満点)
教科書	健康支援と社会保障制度[4] 看護関係法令(医学書院)
参考文献	
講師のコメント	

区分	専門基礎分野
授業科目	関係法規
回数(単位)	1.5回+ 2講師でテスト1回(2講師で1単位15時間)
開講年次	3年次 前期
学習目標	円滑な看護活動を行うために必要な保健医療・福祉の法的基盤を理解する
関連科目	公衆衛生学 社会福祉学 基礎看護学概論
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健師助産師看護師法 2. 看護師などの人材確保の促進に関する法律
授業時間外学習 (事前・事後)	
評価方法	筆記試験(20点満点)
教科書	健康支援と社会保障制度[4] 看護関係法令(医学書院)
参考文献	
講師のコメント	看護にかかわる法律を知り、看護師として自分に必要な手続きを含め、関わりがあることを知ってもらいたい。

区分	専門分野
授業科目	地域・在宅看護方法論 4
回数(単位)	7.5回(テスト含む) (1単位15時間)
開講年次	3年次 前期
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域で暮らす療養者宅の訪問時の対応について理解する。 2. 地域共生社会を理解し、地域における看護活動の広がりへの視点を持つことができる。 3. 地域で暮らす人々とその家族の看護を6つの視点を活用して対象を理解し、具体的な援助を考えることができる。 4. 地域・在宅におけるマネジメントを理解し、暮らしを支える看護を考えて看護の方向性をグループ内で導き出すことができる。
関連科目	社会福祉学 公衆衛生学 老年看護学 地域・在宅看護方法論1～4
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事例を用いて6つの視点を活用した看護計画を立案する 2. 各家庭への訪問に際しての留意点や訪問看護に必要な持ち物 3. 地域でその人らしく暮らし続けるための支援についてグループでの検討 4. 実際の初回訪問を想定したロールプレイ 【演習】 事例に必要な看護を考える(アセスメント) 初回訪問を想定したロールプレイの役作りとイメージ作り 初回訪問時に必要な看護計画及び行動計画 5. 地域・在宅看護のマネジメント(退院支援など) 6. 暮らしの場における看護活動の広がりについて
授業時間外学習 (事前・事後)	訪問時のマナーについて各自事前学習を行う 実習で関わった症例をもとに、退院指導計画を立案する
評価方法	筆記試験50点+課題提出にて評価
教科書	地域・在宅看護の実践 (医学書院)
参考文献	ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論② 公衆衛生がみえる
講師のコメント	地域・在宅看護論実習に必要な内容をグループワーク・ロールプレイを通して学びます。また、暮らしを支えるための看護を具体的に考えることが出来るようにグループでの活動を通して学んでいきましょう。暮らしの場における看護活動の広がりについて学び、看護師としてどんなことが必要になってくるのかを考えていきましょう。

区分	専門分野
授業科目	看護研究
回数(単位)	15回(テスト含む) (2単位30時間)
開講年次	3年次前期
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護学の発展に必要な看護研究の概要について理解する 2. 論文のクリティークの方法がわかる 3. ケーススタディを通し論文作成までのプロセスを学ぶ
関連科目	看護に生かす統計学
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究とは 2. 研究のプロセス <ol style="list-style-type: none"> 1) 研究疑問とは 2) 文献検討・検索の方法 3) 研究テーマの明確化 4) 研究計画書作成 5) 研究の実践 6) 研究論文の作成 3. 研究方法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 質的研究の研究デザインと方法 2) 量的研究の研究デザインと方法 4. 看護研究上の倫理的配慮 5. 論文のクリティークの実際 6. ケーススタディの取り組み(論文作成)
授業時間外学習 (事前・事後)	各々のケーススタディに関連する先行研究を複数読み、知見を広げて行きましょう
評価方法	課題レポート(50点)・ケーススタディ(50点)
教科書	かんたん看護研究 南江堂 看護のためのわかりやすいケーススタディーの進め方 照林社
参考文献	この1冊でできる!初めての看護研究 ナツメ社
講師のコメント	領域実習前半の事例の中から1例を選び、指導のもと各自の問題意識に基づいたケーススタディを、夏季休暇を活用し作成して行きます

区分	専門分野
授業科目	国際看護
回数(単位)	7.5回(テスト含む) (1単位15時間)
開講年次	3年次 前期
学習目標	多様な文化を持つ国際社会に目を向け、広い視野で看護を捉えることができる
関連科目	基礎看護学概論
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際看護とは なぜ国際看護について学ぶのか 日本における国際化 国際社会における看護の対象 2. 世界の健康課題に関連する国際機関、国際協力機関 3. 世界の保健医療システムと課題 4. 国際協力としての看護の実際 海外で看護活動をするには 資格の取得・働く上での課題 異文化理解 国際看護の実際(その国の保健医療の現状と課題、資格の取得、 文化を考慮した看護、看護技術の差異) (演習:ジグソー法によるグループワーク)
授業時間外学習 (事前・事後)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住む地域における外国人市民の状況を調べ、地域における問題を考える ・国際看護の実際について、1つの国を取り上げ、その国の医療・看護の状況と問題について調べ、演習に参加する
評価方法	筆記試験とレポート併せて100点
教科書	基礎看護学① 看護学概論 (メディカ出版)
参考文献	
講師のコメント	看護の対象は世界の暮らすすべての人々です。 世界の動向に興味を持って臨んでほしいです。

区分	専門分野
授業科目	看護管理
回数(単位)	7.5回(テスト含む) (1単位15時間)
開講年次	3年次 後期
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の対象に質の高い看護を提供するために看護管理の基礎的知識を学ぶ。 2. 看護をマネジメントできる基礎的知識を身につける。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護ケアのマネジメントを理解する <ul style="list-style-type: none"> ・看護業務の実践のために必要なマネジメントについて理解する 2) 看護職のキャリアマネジメントを理解する 3) 看護サービスのマネジメントを理解する 4) マネジメントに有用な理論・考え方を理解する
関連科目	基礎看護学概論 関係法規
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護管理とは何か 2. 看護ケアのマネジメント 3. 看護キャリアマネジメント タイムマネジメント・ストレスマネジメント 4. 看護サービスのマネジメント 組織目標達成のマネジメント 看護サービス提供のしくみ 人的・物的・財的マネジメント 5. マネジメントに必要な知識技術 組織とマネジメント リーダーシップとマネジメント 組織の調整
授業時間外学習 (事前・事後)	
評価方法	筆記試験(100点満点)
教科書	看護の統合と実践[1] 看護管理 (医学書院)
参考文献	
講師のコメント	統合実習では、看護ケアマネジメント・看護サービスのマネジメントについて、実践や見学から学ぶ機会を持つ。複数の看護師が複数の患者へ質の高い看護を提供するには、どのようなマネジメントが必要でどのような考え方を持つといいかこの講義を通して学んでほしい。

区分	専門分野
授業科目	看護の統合演習
回数(単位)	15回 (2単位30時間)
開講年次	3年次 後期
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 複数患者の安全安楽を考慮したチームでの看護のあり方がわかる 2. リフレクションを通して統合実習にむけた自己の課題が見出せる
関連科目	看護管理
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 3事例の24時間を考慮した看護を考える 看護上の問題を明らかにし看護目標・看護計画を考える グループでそれらの情報を共有する手段を考える 【 演習:ジグソー法によるグループワーク 】 2. 1週間・24時間を考慮した3事例の看護の優先性を考える 【 演習:グループワーク 】 3. 3人の模擬患者に対し看護を実践する 優先順位 医療安全 看護倫理 看護技術をふまえて臨床判断を行うための看護実践 【 演習:ロールプレイ 】 4. 複数患者が引き起こす割り込み状況の対処の状況をグループ全体で振り返り 24時間を踏まえた看護のあり方を明らかにする
授業時間外学習 (事前・事後)	事前に提示する事例の疾患看護を学習して授業に臨むこと
評価方法	100点満点(ポートフォリオ・ロールプレイ・グループワーク・対話で評価)
教科書	看護の統合と実践[1] 看護管理 (医学書院)
参考文献	
講師のコメント	<p>グループワークが中心となります。時間外の話し合いやリフレクションが必要になります。</p> <p>看護実践をVTRで振り返る機会があり自己の看護の傾向を客観視できます。振り返りで見える自己課題は統合実習の課題につながります。よって、リフレクションがこの講義では重要になります。ポートフォリオを充実させるといいでしょう。</p>

授業科目	特別講義(CE)
時間(単位)	4時間(クラス半分に分かれ、2日かけて実施)
開講年次	3年次
ねらい	看護師が、使用・管理する頻度の高いME機器について、取り扱う上での留意事項を理解する 医療機器に関する基本的構造・取り扱い方法を理解する 医療取り扱い時に起こりうる医療事故を知り、事故防止の視点が持てる 講義は安城更生病院で行う
事後課題	レポート提出

授業科目	特別講義(キャリアプラン)
時間(単位)	2時間
開講年次	3年次
ねらい	今後の実習で自身の能力や自己理解を深め、自分に合った就職先を主体的に選択できる力を養うことを目的とする。また、厚生連各病院の役割や特徴を理解し、就職活動の基本的な進め方や社会人としての基本的なマナーの習得について学び、なりたい看護像にむけて計画的に行動できるようになることを目指す。
事後課題	

授業科目	特別講義(3年間まとめ)
時間(単位)	2時間
開講年次	3年次 卒業前
ねらい	在学中の3年間の学びを振り返り、自己の成長や課題を整理し、自己理解を深める。卒業後のキャリア形成について主体的に考えるとともに、新人1年目に求められる姿勢や行動を理解し、専門職としての自覚を高める。
事後課題	